



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月31日

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所

上場取引所 東

コード番号 6135

URL <http://www.makino.co.jp/>

代表者 (役職名)取締役社長

(氏名)牧野 二郎

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役

(氏名)細島 英一

(TEL)046-284-1439

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	59,453	79.3	△1,462	—	△2,391	—	△2,561	—
22年3月期第3四半期	33,160	△59.1	△10,427	—	△10,687	—	△10,895	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△22.77	—
22年3月期第3四半期	△95.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	158,312	73,767	46.2	657.81
22年3月期	165,422	79,396	47.6	687.51

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 73,190百万円 22年3月期 78,808百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	50.3	1,400	—	300	—	100	—	0.90

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	119,944,543株	22年3月期	119,944,543株
23年3月期3Q	8,680,173株	22年3月期	5,316,080株
23年3月期3Q	112,485,735株	22年3月期3Q	114,632,464株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期の業績予想等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 参考資料	12
受注及び販売の状況	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

第3四半期(10-12月期)に入り、生産財の設備投資はより堅調な拡大を続けています。その中において国内の回復だけが緩やかな理由は、円高の影響や先行きの不透明感によるものです。

(社)日本工作機械工業会の2010年1-12月の受注累計額は、前年比2.4倍で9,786億円となりました。そして2011年の見通し額を1兆1,000億円と発表しています。第3四半期累計(4-12月期)の当社受注は前年同期比2倍の697億円、個別は2.4倍の384億円となりました。最盛期の水準に対して6割まで戻りましたが、厳しい状況に変わりありません。

このような環境の中、第3四半期累計期間における売上高は594億53百万円(対前年同期比79.3%増)、営業損失14億62百万円(前年同期は104億27百万円の営業損失)、経常損失23億91百万円(前年同期は106億87百万円の経常損失)、純損失25億61百万円(前年同期は108億95百万円の純損失)となりました。

純損失が当第2四半期累計(△16.6億円)に比べ増えた要因は、大口受注案件の出荷遅延にあります。そして円高の影響も重なり損失が増加しました。

地域別の状況は以下のとおりです。

日本

第3四半期における個別の国内受注は前年同期比1.9倍、当第2四半期比1.2倍と回復しています。自動車部品に関連するメーカの設備投資に動きがあります。

国内金型業界は、国際競争の中において技術力の強化を進めています。当社はこれに合わせた開発に取り組んでいきます。

アメリカ

新製品の受注が好調に推移しました。自動車部品メーカからは横形マシニングセンタa51nx・a61nx。航空機部品メーカからは5軸マシニングセンタMAG/Aシリーズが中心になります。受注累計は前年同期比2.7倍の164億45百万円になりました。また注力している新型旅客機の難削材(チタン・インコネルなど)加工では、MAG/T2に多くの引合いがあり今後の受注を期待しています。

ヨーロッパ

景気回復の足取りが強まり、ヨーロッパ子会社の受注も増加してきました。しかし、円高/ユーロ安の傾向に変化はなく、欧州工作機械メーカとの競合が極めて厳しい状況になっています。

アジア

中国では、引き続き活発な設備投資が行なわれています。また業種が多岐にわたり、向け先が各地に広がっています。

インドからは、自動車・建機・農機関連で横形マシニングセンタの受注が増加しました。元来欧州工作機械メーカが強い地域であり、円高/ユーロ安の影響を受けています。

マキノアジア社が開発製造した放電加工機と立形マシニングセンタの受注は好調に推移しており、生産現場はフル稼働の状態が続いています。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債および純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ71億9百万円減少し、1,583億12百万円となりました。

資産の主な増減としては、現金及び預金132億7百万円の減少、たな卸資産82億27百万円の増加、受取手形及び売掛金28億34百万円の減少などが挙げられ、負債の主な増減としては、1年内償還予定の社債100億円の減少、支払手形及び買掛金66億56百万円の増加、短期借入金22億45百万円の減少などが挙げられます。

また、純資産については利益剰余金25億61百万円の減少、自己株式20億3百万円の取得などにより、前連結会計年度末に比べ56億28百万円減少した737億67百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加100億32百万円による支出がありましたが、仕入債務の増加77億79百万円、売上債権の減少15億95百万円などの収入により、31億46百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは定期預金の運用82億20百万円などにより69億28百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは140億88百万円の支出となりました。主な増減としては社債100億円の償還による支出、長期借入金の返済46億69百万円による支出、自己株式の取得20億3百万円による支出、長期借入れによる47億50百万円の収入が挙げられます。

以上これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ49億85百万円減少し、378億4百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年10月29日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

法人税等の計上基準など一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業損益、経常損益及び税金等調整前四半期純損益に与える影響は軽微であります。

②表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,815	51,022
受取手形及び売掛金	21,318	24,153
有価証券	2,019	2,019
商品及び製品	9,013	9,591
仕掛品	11,791	7,331
原材料及び貯蔵品	17,077	12,733
繰延税金資産	793	791
その他	3,688	2,682
貸倒引当金	△780	△800
流動資産合計	102,738	109,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,544	21,333
機械装置及び運搬具(純額)	2,892	3,114
工具、器具及び備品(純額)	1,996	1,917
土地	9,705	9,856
リース資産(純額)	1,933	2,007
建設仮勘定	235	461
有形固定資産合計	37,308	38,690
無形固定資産		
その他	904	825
無形固定資産合計	904	825
投資その他の資産		
投資有価証券	11,923	10,383
長期貸付金	664	671
繰延税金資産	829	990
その他	4,429	4,903
貸倒引当金	△486	△566
投資その他の資産合計	17,360	16,382
固定資産合計	55,573	55,898
資産合計	158,312	165,422

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,935	14,278
短期借入金	2,940	5,186
1年内償還予定の社債	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	2,648	4,677
リース債務	621	624
未払法人税等	739	581
その他	10,814	7,122
流動負債合計	38,699	42,471
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	17,187	15,146
リース債務	2,092	2,207
繰延税金負債	4,112	3,477
退職給付引当金	545	827
役員退職慰労引当金	291	279
負ののれん	83	71
その他	1,532	1,544
固定負債合計	45,845	43,554
負債合計	84,545	86,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,263	19,263
資本剰余金	32,595	32,595
利益剰余金	29,271	31,832
自己株式	△4,770	△2,767
株主資本合計	76,359	80,924
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,427	3,563
為替換算調整勘定	△7,597	△5,680
評価・換算差額等合計	△3,169	△2,116
少数株主持分	577	588
純資産合計	73,767	79,396
負債純資産合計	158,312	165,422

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	33,160	59,453
売上原価	30,786	45,506
売上総利益	2,373	13,947
販売費及び一般管理費	12,801	15,409
営業損失(△)	△10,427	△1,462
営業外収益		
受取利息及び配当金	174	235
その他	689	413
営業外収益合計	864	648
営業外費用		
支払利息	657	740
為替差損	376	769
その他	89	68
営業外費用合計	1,123	1,577
経常損失(△)	△10,687	△2,391
特別利益		
固定資産売却益	29	55
特別利益合計	29	55
特別損失		
固定資産除却損	—	14
特別損失合計	—	14
税金等調整前四半期純損失(△)	△10,657	△2,349
法人税等	274	204
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△2,553
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△36	7
四半期純損失(△)	△10,895	△2,561

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△10,657	△2,349
減価償却費	2,501	2,325
のれん償却額	29	11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	159	3
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,034	11
退職給付引当金の増減額(△は減少)	87	△36
受取利息及び受取配当金	△174	△235
支払利息	657	740
為替差損益(△は益)	70	357
有形固定資産売却損益(△は益)	△29	△55
有形固定資産除却損	—	14
売上債権の増減額(△は増加)	8,686	1,595
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,636	△10,032
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,162	7,779
その他	3,922	3,551
小計	2,692	3,682
利息及び配当金の受取額	160	238
利息の支払額	△572	△665
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	310	△109
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,590	3,146
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△1,301	8,220
有価証券の取得による支出	△50	—
有価証券の売却による収入	200	—
有形固定資産の取得による支出	△1,353	△1,230
有形固定資産の売却による収入	437	140
子会社株式の取得による支出	△316	—
その他	△423	△202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,807	6,928
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,852	△1,847
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△242	△301
長期借入れによる収入	536	4,750
長期借入金の返済による支出	△458	△4,669
社債の償還による支出	—	△10,000
自己株式の取得による支出	△1	△2,003
子会社の自己株式の取得による支出	△316	△14
少数株主への配当金の支払額	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,368	△14,088
現金及び現金同等物に係る換算差額	76	△972
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,227	△4,985
現金及び現金同等物の期首残高	39,978	42,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,205	37,804

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」の適用により、セグメントの表示は変わりましたが内容についての変更はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
1. 外部顧客に対する 売上高	12,998	8,576	8,920	2,664	33,160	—	33,160
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,876	678	129	11	8,695	(8,695)	—
計	20,875	9,254	9,049	2,676	41,855	(8,695)	33,160
営業費用	29,652	10,009	9,579	3,686	52,928	(9,340)	43,588
営業損失(△)	△8,776	△755	△529	△1,010	△11,072	644	△10,427

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域
 アジア・・・シンガポール
 アメリカ・・・アメリカ
 ヨーロッパ・・・ドイツ

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	9,081	3,020	10,737	793	23,632
II 連結売上高(百万円)					33,160
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	27.4	9.1	32.4	2.4	71.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域
 アメリカ・・・アメリカ・カナダ
 ヨーロッパ・・・ドイツ・イタリア
 アジア・・・中国・インド・韓国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行なっており、販

売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行なっております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠは、牧野フライス製作所および国内連結子会社が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェイ、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。

報告セグメントⅡは、MAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢは、MAKINO INC.(アメリカ合衆国オハイオ州メイスン)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣは、MAKINO Europe GmbH(ドイツ連邦共和国ハンブルグ市)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェイを除く)のすべての国です。

②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

	報告セグメント				
	Ⅰ (百万円)	Ⅱ (百万円)	Ⅲ (百万円)	Ⅳ (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	23,897	19,511	11,640	4,404	59,453
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,575	2,281	143	—	23,000
計	44,472	21,793	11,783	4,404	82,454
セグメント利益 又は損失(△)	△1,948	964	0	△480	△1,463

③報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額 及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	△1,463
未実現利益の消去他	0
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,462

④報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 参考資料

【受注及び販売の状況】

(1) 受注の状況

受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称 (5)① 報告セグメントの概要)	当第3四半期連結累計期間 自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 12月 31日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	27,362	39.2	—
II	20,816	29.8	—
III	16,445	23.6	—
IV	5,167	7.4	—
合計	69,791	100.0	—

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間末 平成22年 12月 31日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	15,799	46.8	—
II	9,213	27.3	—
III	6,536	19.4	—
IV	2,211	6.6	—
合計	33,760	100.0	—

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

(2) 販売の状況

販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 12月 31日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	23,897	40.2	—
II	19,511	32.8	—
III	11,640	19.6	—
IV	4,404	7.4	—
合計	59,453	100.0	—

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。